

今日被災地見学ツアーに同行し、震災で家族を亡くしながら仮設商店でがんばっている方のお話を伺いました。

高田町内に現在も残る3階建ての建物(自営業)を所有するAさんは、「この建物には思い出がある。ここはかさ上げ対象外なので残したいと思う」とおっしゃっていました。

震災後、残った建物を行政が無償で撤去していましたが、Aさんはそれを断りました。その際「今後の撤去費用は実費になります。相当な額になりますよ」と言われ、調べてみると800万円は下らない。撤去すべきか悩み、奥さまに相談しました。

すると奥さまは「壊してしまったらもう元には戻せないよ。いつか撤去してもいいと思った時でいいんじゃない。800万かかっても、一生懸命働けばいいよ。お金は働けば何とかなるかもしれないけれど、思い出は戻らないよ」と言って、建物を残すことに背中を押して下さったそうです。

Aさんは、自宅も仕事場も再建しなければなりません。これからの暮らしもあります。震災後の弁護士

さんの相談会では、個人事業主(つまり、自営業の方)への行政支援がないことがよく聞かれました。

思い出すのは、やはり個人事業主の奥さまが、ため息混じりにおっしゃったことです。「仕事場がなくなったから夫は別なところで働いているけれど、その手取り14万円は全部以前の仕事の借金返済に充てています。もう無くなってしまった物の借金ですよ。私たちには行政の支援なんてないから、支援金や義援金と言われるものを取り崩して生活しています。なぜ、同じく被災したのにこんなに支援に差があるんでしょうか」。

同じように被災し何もかも失ったのに、行政からの支援に差がある現状に、怒りを覚えます。

今日のお話を聞きながら、生きていくための支援がもっと必要だとの思いを新たにしてみました。

今日お話し下さったAさんが、建物を撤去せず残せることを、心から願っています。そして、もし可能なら皆さんにこの方のお話を現地で聞いてほしいと思いました。

## 支援活動 3行レシピ、あいがとうの声が届いています

昨年秋に呼びかけて、こ～ぷ委員会のみなさんからお寄せいただいた「3行レシピ」。これまでに①～④を発行し、沿岸地域のお住まいのみなさんにお配りしています。



- ふれあいサロンで作りました。みんなで作ったら、あっという間にできました。家でも作ってみたいと思います。
- にんじんの皮をむく係だったり、まぜる係だったりみんなで調理しました。とても楽しく、おいしかったです。
- 「食事を作らなくちゃとは思うけど、何もする気にならない」と気落ちしていた母。3行レシピを見て、「これなら簡単そうだし、やれそうだ」と早速台所に立ちました。妹や私の分まで作り、持たせてくれました。ありがとう。
- (わいわいこ～ぷで紹介した記事を見て) かんたんでおいしいもの、私も作りたと思います。一度見てみたいです。

※今後、再度3行レシピへのご協力を呼びかける予定です。その際はぜひご協力をお願いします。

## Kのつぶやき 「テレパシーだよなあ」

「りんご、むこうにあったかな？」と思うと、もう私の足元でスタンバっている。(りんご大好物！)

「そろそろ、シャンプーする時期だな」と思うとそ～っとハウスに逃げ込む。(シャンプー嫌い！)

息子が、学校で何か嫌なことがあってしょげて帰って来た時や、私が落ち込んでいたりすると、ぴったりとそばから離れない。



言葉に出していないのに、、、である。きっと言葉じゃないんだな！これがいわゆるテレパシーってやつだと思う。特にうちの子は、目が見えなかったから、それ以外の感覚が研ぎ澄まされたのか…「テレパシー」という言葉を信じさせてもらった。そんな愛犬の2周忌だった。

